

令和8年 3月25 日

令和7年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：先進遠隔診療講座

所 属 長：的場聖明

1 共同研究講座の目的

地域医療を充実させる上で、オンライン診療と遠隔モニタリングを活用することで、病気の早期発見や、受診勧奨、診療につなげ綾部市を舞台に持続可能な地域医療の在り方を検討する。

2 報告年度に係る取組状況

健康寿命の可視化により地域における課題を抽出し取り組めるシステムを開発し、論文化した。疫学データやオンライン診療機器を活用して、研究を準備している。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

論文

Nishi M, Nagamitsu R, Morita S, Imanaka M, Matoba S. An Integrative Framework for Estimating Personal Healthy Life Expectancy from Personal Health Records. *Digital Health* in press. DOI: 10.1177/20552076261436862

学会発表

1. Nishi M, Hamaguchi M, Fukui M, Matoba S. Health Informatics-Based Preventive Strategies for Ambulatory Patients with Cardiovascular Disease Aimed at Enhancing Healthy

Life Expectancy. Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2026 in Fukuoka. Symposium.

2. Nishi M, Nagamitsu R, Morita S, Imanaka M, Matoba S. Method for Estimating Personal Healthy Life Expectancy. 第36回日本疫学会学術総会 & 第3回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会 2026 長崎. Poster.

3. 西真宏、長光玲央、森田理美、的場聖明. 医療レセプトデータによる市町村の活動制限の無い期間に基づく健康寿命の推計. 第84回日本公衆衛生学会総会 2025 静岡. 一般演題口演.

4. 西真宏. EHR と機械学習による健康寿命の可視化と地域診断. 第25回日本抗加齢医学会総会 2025 大阪. シンポジウム

研究助成

1. 日本医療研究開発機構 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業「循環器病の予防と医療費適正化を目指した市町村の健康寿命と疾病有病率および医療費のリアルタイム評価法の開発と実証研究」(JP25ek0210219h0001) 代表: 西真宏

2. 日本学術振興会科学研究費 補助金 若手研究「健康格差の是正と地域の健康課題の解決に資する健康寿命のリアルタイム評価法の確立」採択 代表: 西真宏

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。